

食農融和シンポジウム開催要領

1. テーマ 「食育・食農活動は今」

食べものとなる動植物が育つためには、一定の時間と空間も必要であり、また農業者がいくら努力しても、工業製品のように100%均質な規格品ができるわけではありません。現代の食生活では、「自然の摂理」のなかにある食の根源的なあり方さえ、忘れられ始めているのではないのでしょうか。

ついては、このような食と農のかい離を食い止め、食のあり方を改めて問い直すことを目的としたシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、農業経営者とゲストによる取り組み事例の紹介やパネルディスカッションを行い、食育・食農活動への思いや農業法人への期待等を紹介します。

2. 日時・会場

平成21年10月14日(水)～16日(金)各日13:30～15:00

『第6回グルメ&ダイニングショー秋2009』キッチンステージ

東京ビッグサイト東展示棟3ホール

3. プログラム

(1) 10月14日(水)13:30～15:00 『食農教育を通じて農業者が伝えられること』

農業・教育関係者から現場で行われている食育活動の事例を紹介し、農業者の意見を交えた討議をします。

パネリスト 大城 浩明 (沖縄県：(有)トピカルフาร์มたまぐすく代表取締役)

見城美枝子 (青森大学教授・エッセイスト・ジャーナリスト)

武井 尚一 (群馬県：(有)武井農園代表取締役)

コーディネーター 紺野 和成 ((社)日本農業法人協会専務理事)

(2) 10月15日(木)13:30～15:00 『教育ファームによる食農体験とは』

教育ファームとは、作物を育てるところから食べるところまで、一貫した「本物体験」の機会を提供する取り組み。今、現場で行われている事例を紹介し、食農体験の普及・拡大に向けた課題とは何かをテーマにパネルディスカッションを行います。

パネリスト 萩原さとみ (埼玉県：ファーム・インさぎ山代表)

広野 正則 (香川県：(有)広野牧場代表取締役)

藤田 毅 (新潟県：(有)フジタファーム代表取締役)

大山 貴司 (農林水産省消費・安全局消費者情報官補佐(教育ファーム推進班))

コーディネーター 栗田 庄一 ((社)農山漁村文化協会常務理事)

(3) 10月16日(金) 13:30~15:00 『農から食へ いま農業の本質を伝えたい』

農業現場で行われている食農活動や外食産業の取り組みを紹介し、食のあり方を改めて問い直すことを目的としたパネルディスカッションを行います。

パネリスト 河崎 妙子 (レストランプロデューサー)

野島五兵衛 (大阪府：(有)杉農園代表取締役)

藤井浩太郎 ((岡山県：芳井殖産(株)専務取締役)

コーディネーター 榊田みどり (農業ジャーナリスト)

(敬称略)

4. 参集者と参集規模

グルメ&ダイニングスタイルショー秋 2009 来場者のうち 200 人程度の参加を想定
(なお、会場の都合上、椅子席は 50 席までとなりますのでご了承ください。)

※ 過去実績

2009 年 2 月 3 日(火)~6 日(金)開催 4 日間来場者数 31,062 人、出展社数 133 社

来場内訳：小売業 24%、サービス 19%、卸・商社 16%、メーカー 8%、通販関係 4%ほか

5. 主 催

(社)日本農業法人協会

全国担い手育成総合支援協議会

(社)農山漁村文化協会

(株)ビジネスガイド社

6. 事務局

(社)日本農業法人協会 政策課 北村・岸本

〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8 中央労働基準協会ビル 1 階

TEL : 03-6268-9500、FAX : 03-3237-6811

7. その他

○本シンポジウムは農林水産省委託事業「平成 21 年度担い手総合支援委託事業」のうち「経営多角化・高度化支援活動」で開催するものです。

○「グルメ&ダイニングスタイルショー秋 2009」に関するお問い合わせ

主催：(株)ビジネスガイド社 GDS 事務局

〒111-0034 東京都台東区雷門 2-6-2

TEL : 03-3847-9853、FAX : 03-3843-9850